

令和4年度 事業計画（案）

1. 米山梅吉記念館の設置・運営、資料の蒐集、展示

米山梅吉は、社会奉仕に人生の大半を捧げ「新隠居論」を提唱した。その趣旨は、社会で功成り、名をとげた者はその人脈や経験を生かし、社会奉仕、世の公益事業に尽くすべきであるというものである。この米山の思想を普及するべく、その基となる資料、著作その他のものを展示し、閲覧に供する。展示室は一般に無料公開とする。

- ① 米山梅吉に関する書籍、資料の蒐集。
- ② 蒐集した資料の整理、研究を進める。
- ③ 来館者には学芸員の専門的な説明による対応を拡充する。
- ④ 記念館周辺の観光案内などのパンフレットを配布し、来館者の誘致促進を図る。
- ⑤ 一階ホールを移動例会場・研修会場として開放する。
- ⑥ ロータリークラブ全国組織、地元企業、近隣趣味サークル等への会議・交流の場としてホールの活用促進を図る。
- ⑦ ホームページやSNS、近隣市町の広報等を利用し、情報を発信する。

2. 米山梅吉の思想を普及するための講演会開催及び印刷物の刊行

米山梅吉の思想を普及するための講演会を開催する。また、それに伴う印刷物を発行する。

- ① 毎年2回（春・秋）米山梅吉の思想、また、公益事業等その他その外縁に関する講演会を開催する。対象は一般とする。
- ② 春・秋の年2回、館報を発行し、全国のロータリークラブ及び関係者に配布する。
- ③ 近隣自治体の広報や館報などを通じて、講演会や館報の周知を図る。
- ④ 社会奉仕、国際親善の精神普及を図り、青少年の健全な育成に寄与するため写真集等を近隣小中学校に寄贈する

3. 米山文庫の運営

- ① 図書閲覧室を開設し、幼児から中学生を対象とした図書閲覧及び書籍の貸し出しを行い読書教育の普及を図る。
- ② 長泉町立図書館との連携を進め、地域の公立図書館事業の推進に寄与する。
- ③ 定期的に読み聞かせの会・カルタ会等を開催する。対象は一般とする。
- ⑤ ポスターやチラシ等を作成し、近隣自治体や幼稚園・学校に広報し、文庫活用の促進を図る。

4. 創立50周年記念事業

- ① 記念事業を継続実施する。

5. 記念館の運営

- ① 組織化された業務執行体制を確立させる。
- ② 効率的な予算編成・執行に努める。
- ③ 施設・設備の大規模整備計画を推進する。
- ④ 運営に関する諸規定整備を進める。

令和4年度 事業計画（細目）

1. 例祭の開催

秋季例祭 令和4年9月17日（土）

春季例祭 令和5年4月22日（土）

2. 会議

理事会 年2回

評議員会 年1回

運営委員会 適宜

3. 地域ロータリークラブとの連携

1. 施設の定期的な利用による地域ロータリークラブ活動の支援

2. 施設環境整備奉仕活動を通じた連携の強化

4. 来館誘致事業

1. 来館クラブ・来館者への対応（学芸員・館役員・運営委員）

2. ホールの利用促進

移動例会、ロータリー米山記念奨学会の会議、研修及びロータリー関連の会議、研修の場として活用の促進

近隣の趣味サークル等への会議・交流の場としての活用の促進

3. 道標及び案内マップの作成

5. 運営費促進事業

1. 全国ロータリアンへの運営費助成の要請

2. ロータリー米山記念奨学会への対応

3. 全国ロータリアン一人年間100円募金運動による事業資金協賛の推進

4. 全国34地区各クラブ周年事業等による館への寄附要請

5. 賛助会員の加入増強・推進

6. 報発信事業

1. 全国のRCへ記念館インフォメーションの作成・発送

2. ホームページの更新・整備

3. SNSの運用

4. 「ロータリーの友」、「ガバナー月信」等への情報提供及び掲載

5. 館報の発行（春号・秋号）及び発送

6. 米山梅吉研究会の企画・運営

7. 展示部門の充実

1. 記念館関連の出版図書の販売

2. 米山グッズ・バナー・DVDの販売

8. 米山文庫の管理、運営

1. 米山文庫の運営

2. 文献事業の充実

3. 利活用のPR及び促進

4. 米山文庫開館10周年記念事業の継続

9. 書庫の整備・管理

1. 蔵書の拡充

2. 貸出要請への対応

令和4年度収支予算書内訳表 <損益計算ベース>

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用収入				
基本財産利息収入	10,000			10,000
②特定資産運用収入				
特定資産運用収入	10,000			10,000
③賛助会費収入	2,000,000			2,000,000
④研修補助金収入	2,000,000			2,000,000
⑤寄付金収入				
地区寄付金収入	4,000,000			4,000,000
特別寄付金収入	1,500,000	1,500,000		3,000,000
百円募金寄付金収入	2,000,000			2,000,000
施設寄付金収入	500,000			500,000
⑥普及事業収入	700,000			700,000
⑦雑収入				
受取利息	10,000			10,000
雑収入	100,000			100,000
経常収益計	12,830,000	1,500,000	0	14,330,000
(2)経常費用				
事業費				
給料手当	4,200,000			4,200,000
法定福利費	600,000			600,000
福利厚生費	150,000			150,000
旅費交通費	200,000			200,000
通信費	600,000			600,000
事務費	250,000			250,000
記念館修理費	300,000			300,000
水道光熱費	1,400,000			1,400,000
普及費	700,000			700,000
館報発行費	1,500,000			1,500,000
記念館運営諸費	1,350,000			1,350,000
文庫運営諸費	400,000			400,000
委託費	650,000			650,000
雑費	100,000			100,000
50周年事業費	6,000,000			6,000,000
管理費				
給料手当		850,000		850,000
法定福利費		120,000		120,000
福利厚生費		30,000		30,000
会議費		400,000		400,000
旅費交通費		500,000		500,000
通信費		120,000		120,000
事務費		50,000		50,000
記念館修理費		50,000		50,000
水道光熱費		300,000		300,000
慶弔費		100,000		100,000

令和4年度収支予算書内訳表 <損益計算ベース>

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
雑費		50,000		50,000
経常費用計	18,400,000	2,570,000	0	20,970,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,570,000	△ 1,070,000	0	△ 6,640,000
投資有価証券評価損益等	0	0		0
当期経常増減額	△ 5,570,000	△ 1,070,000	0	△ 6,640,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,570,000	△ 1,070,000	0	△ 6,640,000
他会計振替額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 5,570,000	△ 1,070,000	0	△ 6,640,000
一般正味財産期首残高				430,644,651
一般正味財産期末残高				424,004,651
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				424,004,651

一般会計収支予算書

2022（令4）年7月1日から2023（令5）年6月30日まで

公益財団法人米山梅吉記念館

（単位：円）

科目	当年度	前年度（補正後）	差異	備考	前々年度実績
I事業活動収支の部					
I 事業活動収入					
①基本財産運用収入	10,000	10,000	0		3,109
基本財産利息収入	10,000	10,000	0		3,109
②特定資産運用収入	10,000	10,000	0		32,606
特定資産運用収入	10,000	10,000	0		32,606
③賛助会費収入	2,000,000	2,000,000	0		2,570,000
④研修補助金収入	2,000,000	2,000,000	0		2,000,000
⑤寄付金収入	9,500,000	9,200,000	300,000		10,064,342
地区寄付金収入	4,000,000	3,700,000	300,000		3,846,600
特別寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0		3,576,057
百円募金寄付金収入	2,000,000	2,000,000	0		2,324,685
施設寄付金収入	500,000	500,000	0		317,000
⑥普及事業収入	700,000	700,000	0		356,900
⑦雑収入	110,000	110,000	0		101,694
受取利息	10,000	10,000	0		1,694
雑収入	100,000	100,000	0		100,000
事業活動収入合計	14,330,000	14,030,000	300,000		15,128,651
2事業活動支出					
①事業費支出	12,400,000	11,600,000	800,000		9,902,213
給料手当	4,200,000	4,200,000	0		4,064,374
法定福利費	600,000	600,000	0		537,107
福利厚生費	150,000	150,000	0		66,991
旅費交通費	200,000	200,000	0		108,800
通信費	600,000	600,000	0		622,072
事務費	250,000	250,000	0		245,866
記念館修理費	300,000	300,000	0		272,501
水道光熱費	1,400,000	1,300,000	100,000		982,564
普及費	700,000	700,000	0		124,607
館報発行費	1,500,000	1,400,000	100,000		1,242,098
記念館運営諸費	1,350,000	1,300,000	50,000		1,055,198
文庫運営諸費	400,000	0	400,000		
委託費	650,000	500,000	150,000		500,000
雑費	100,000	100,000	0		80,035
②管理費支出	2,570,000	2,570,000	0		1,209,548
給料手当	850,000	850,000	0		717,242
法定福利費	120,000	120,000	0		94,784
福利厚生費	30,000	30,000	0		11,822
会議費	400,000	400,000	0		47,936
旅費交通費	500,000	500,000	0		58,540
通信費	120,000	120,000	0		109,777
事務費	50,000	50,000	0		6,453
記念館修理費	50,000	50,000	0		28,273
水道光熱費	300,000	300,000	0		101,944
慶弔費	100,000	100,000	0		30,000
雑費	50,000	50,000	0		2,777
事業活動支出合計	14,970,000	14,170,000	800,000		11,111,761
事業活動収支差額	△ 640,000	△ 140,000	△ 500,000		4,016,890

科目	当年度	前年度(補正後)	差異	備考	前年度実績
Ⅱ 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入	0	0	0		
50周年事業引当資産取崩収入	0	0	0		
② その他固定資産取崩収入	250,800	250,800	0		250,800
火災保険積立金取崩収入	250,800	250,800	0		250,800
投資活動収入合計	250,800	250,800	0		250,800
2 投資活動支出					
① 特定資産取得支出	5,120,000	5,120,000	0		5,152,488
減価償却引当資産取得支出	5,000,000	5,000,000	0		5,032,473
50周年事業引当資産取得支出			0		
退職給付引当資産取得支出	120,000	120,000	0		120,015
投資活動支出合計	5,120,000	5,120,000	0		5,152,488
投資活動収支差額	△ 4,869,200	△ 4,869,200	0		△ 4,901,688
当期収支差額	△ 5,509,200	△ 5,009,200	△ 500,000		△ 884,798
前期繰越収支差額	13,236,901	18,246,101	△ 5,009,200		20,265,301
当期繰越収支差額	7,727,701	13,236,901	△ 5,509,200		19,380,503

※予算について、科目間の流用を認めるものとする。

米山記念館50周年記念事業特別会計 収支予算書

2022(令4)和4年7月1日～2023(令5)年6月30日

公益財団法人米山梅吉記念館

(円)

科 目	当年度	前年度(補正後)	差異	備考	前々年度実績
I事業活動収支の部					
1事業活動収入					
①寄付金収入	0	4,800,000	△ 4,800,000		5,419,000
50周年事業寄付金収入	0	4,800,000	△ 4,800,000		5,419,000
②雑収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
③一般会計からの繰入収入	0	0	0		
事業活動収入合計	0	4,800,000	△ 4,800,000		
2事業活動支出					
①事業活動支出	60,000,000	0	60,000,000		
50周年事業費	60,000,000	0	60,000,000		
事業活動支出合計	60,000,000	0	60,000,000		
事業活動収支差額	△ 60,000,000	4,800,000	△ 64,800,000		
II投資活動収支の部					
1投資活動収入					
①特定資産取崩収入	60,000,000	0	60,000,000		
50周年事業引当資産取崩収入	60,000,000	0	60,000,000		
投資活動収入合計	60,000,000	4,800,000	55,200,000		
I投資活動支出					
①特定資産取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000		
50周年事業引当資産取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000		3,112,658
投資活動支出合計	0	5,000,000	△ 5,000,000		3,112,658
投資活動収支差額	60,000,000	△ 5,000,000	65,000,000		△ 3,112,658
当期収支差額	0	△ 200,000	200,000		2,306,342
前期繰越収支差額	1,527,551	1,727,551	△ 200,000		2,527,551
当期繰越収支差額	1,527,551	1,527,551	0		4,833,893

公益財団法人 米山梅吉記念館 理事会議事録

日 時 令和4年4月23日(土) 午前11時
開催場所 静岡県駿東郡長泉町上土狩346番地1
公益財団法人 米山梅吉記念館

理事・監事の出席状況

理事 総数17名 出席12名 欠席5名
監事 総数 3名 出席 2名 欠席1名

出席理事の氏名

松村友吉、加藤丈夫、井上雅雄、細澤哲哉、金子 信
鈴木 喬、松宮 剛、池田 修、久松 但、安平 和彦
井手 和英、山口和一、

出席監事の氏名

井口賢明、 宮内正敏

議事の経過の要領及び結果

司会者より本理事会は、定款第31条により過半数の理事の出席を必要とするが、本日の出席理事は定数を満たしているので、有効に成立したことの報告があった。

報告事項

司会者は次の4つの報告事項について、報告を求めたところ、常務理事細澤哲哉は詳細に説明した。

1 業務執行理事による職務執行状況報告

定款第23条第3項により理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない旨説明し、令和3年7月から令和4年3月まで執行状況を説明した。

2 令和3年度事業実施補遺金及び中間収支状況

令和3年7月から令和4年3月までの事業実施報告についてはコロナ禍の厳しい現状の中、記念館活動について説明をした。

また、令和3年7月から令和4年3月末までの収支計算書の概要を次のように説明した。

① 事業活動収入

コロナ禍の中、来館者が減少し寄付金収入も大幅に減少したため当初予算より大幅に減少していることが報告された。

② 事業活動支出

コロナ禍ではあるが活発な広報事業活動を実施したので事務費の増加があった。

③ 米山梅吉記念館50周年記念事業特別会計収支

記念事業実施のため全国のロータリークラブ等から3年間継続して事業費の寄付をいただいております今年度が最終年度となる。今年度の現在までの寄付金収入は450万円余である。

3 静岡県公益認定等審査会立入検査結果通知書への対応

令和4年2月2日、静岡県教育総務課による立入検査を受け別紙のような改善指導を受けた。それぞれの改善対応を詳細に説明した。

4 創立50周年記念事業

記念事業は令和元年度から3年間の継続事業となっているが、未実施事業は書庫増築及び展示室リニューアル工事となっている。この2年余に及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大の影響により情勢の変化は著しく、受け入れ態勢も再考しなければならなくなった。このような状況を鑑み、書庫増築は一時見合わせることにし、展示室リニューアルなど今後の活動の場として環境整備の推進を図ることを説明した。

これら4つの報告事項について質疑を経たのち、賛否を問うたところ出席理事全員意義なく、承認した。

司会者が仮議長となって議長の選任を諮ったところ、理事長を議長とする承認があったので、理事長が議長となって議事を進めた。

審議に先立ち、議長は法令の定めにより本理事会の議事録を作成する必要がある、定款第33条第2項の定めにより理事長及び出席した監事が議事録に記名押印すると述べた。

第1号議案 令和3年度収支補正予算（案）承認の件

議長は、本案を議題とし、その説明を求めたところ、理事久松但は、別紙補正予算案の内容につき説明した。なお、修正説明の主なるものは以下のとおりである。

- 1 収入は、寄付金収入を130万円減額した。
- 2 支出は、それぞれ実績にあわせて増額又は減額をした。
事業費支出のうち旅費交通費、事務費の増額、普及費、館報発行費の減額
- 3 米山梅吉記念館50周年記念事業特別会計については寄付金収入480万円増額

議長は、これについて質疑応答を経た後、賛否を問うたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認可決した。

第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

議長は、本件を議題とし、その説明を求めたところ、常務理事細澤哲哉は、以下のとおり、議案を説明した。

① 定款第7条により、事業年度開始の日の前日までに、事業計画、収支予算について、理事会の承認を得る必要があること。

② 事業計画はこの2年余にもおよぶ新型コロナウイルス感染症拡大の影響により情勢の変化は著しいが、米山翁の思想の普及のため昨年度と同様の事業を展開する。令和3年4月に「将来構想検討委員会」が設置され、記念館発展のための中長期的な計画の策定をしている。

引き続き令和4年度収支予算案について理事久松但が別紙収支予算書に基づき詳細に説明した。

議長は、これについて質疑応答を経た後、賛否を問うたところ、出席理事全員異議なく、原案通り承認可決された。

第3号議案 寄付促進委員会、広報委員会、資料整理委員会設置承認の件

議長は、本件を議題とし、その説明を求めたところ、常務理事細澤哲哉は、以下のとおり、議案の説明をした。

令和3年4月に設置された「将来構想検討委員会」が記念館全般における単年度及び中長期的な計画を検討した結果、運営基盤の強化、展示室のリニューアル、保存資料の整理、電子化、記念館をより広範囲に知名度を高める方策など、経営環境整備を図るため議案の3委員会を組織することの必要性を詳細に説明し、併せて委員の選考については理事長に一任させていただくよう諮った。

議長は、これについて質疑応答を経た後、賛否を問うたところ、出席理事全員異議なく、原案通り承認可決された。

以上を以て議案の審議はすべてを終了したので、議長は午後12時20分閉会を宣した。

ここに決議を明確にするため、議事録を作成し、定款第33条第2項の規定により理事長及び出席監事が記名捺印する。

令和4年4月23日

公益財団法人米山梅吉記念館 理事会

理事長
(代表理事)

松村友吉



監事

井口賢明



監事

宮内正敏

